

ミニ

手話講座

3月は弥生やよい。草木がいよいよ芽吹く月。春の訪れを感じ、新たな出発・出会い、喜びに満ちた気持ちになってきますね。
ミニ手話講座の手話単語も70個を超えました。少しずつ覚えてみてくださいね。

卒業



卒業証書を持った形の両手を、証書を受け取るように上げる

桜



両手のひらを合わせながら回転し

桃 (ピンク)



両手の指先と手首を付け合せ、花の形を左右に少し揺らす



左右の手の位置を前後入れ替える

お問い合わせ先 長寿障害福祉課 (☎ 72-7610)

道の駅大歩危・妖怪屋敷と石の博物館 妖怪たちに会いに行こう!

完成!『山城大歩危妖怪村見聞録』
巻物仕立ての絵物語 作: 下岡正一氏
完成を記念し記念行事を開催します。お気軽にご来場ください。

三好市民無料招待デー
4月2日(土)・3日(日)
9:00~17:00
妖怪屋敷と石の博物館に市民の皆さまは無料でご入館いただけます。住所を証明できるものをご持参ください。

特別協賛展示
やましろ狸な会 狸伝説襖絵展示
4月2日~5月8日

●お問い合わせ先
道の駅大歩危 妖怪屋敷と石の博物館
☎ 84-1489



地域おこし協力隊 Facebook
隊員の活動を発信しています。
ぜひフォローしてください。

地域おこし協力隊 活動レポート



今回は徳島隊員の活動レポートです

2月6日、西祖谷山村の吾橋あわし小学校で手話教室を開催し、全校児童4人が校歌等の手話を学習しました。
吾橋小学校は1874年(明治7年)に開校し、創立147年の今年度で休校になります。
三好市は2016年(平成28年)に手話言語条例を制定し、手話の普及に努めていることもあり、三好市地方創生推進課の地域おこし協力隊事業で、校歌を手話で表現する企画をご提案させていただきました。
当日は授業参観で、保護者等12人も参加していただき、ろう者の手話講師の西川利幸さん、三好市長寿・障害福祉課の今村ふみ子手話通訳士により、簡単な挨拶や指文字を学習した後、校歌を手話で表現しました。子ども達は、「手話は難しかったけれど、校歌の手話は忘れない」「次の学校に行っても手話をしたい」と話してくれました。
休校に際し、子ども達の心に残る思い出作りができたこと

とを嬉しく思います。三好市に手話のできる人が一人でも増えますよつ、これからも活動を続けてまいります。



今年度で休校となる吾橋小学校



吾橋小学校で手話教室を開催しました

「男女共同参画って、難しそう」「自分には関係ない」と思っていないませんか。また、「参画」という言葉もあまり聞き慣れませんが、参画とは、単に「参加する」のではなく、方針などの「意思決定への参加」を意味します。
性別による固定的な役割分担意識が根強く残り、これに縛られて自分の希望を叶えられない人が多くいます。男女共同参画社会とは、「二人ひとりが豊かな人生を送るうえで、性別にとらわれることなく家庭や学校、職場や地域でそれぞれの個性と能力を発揮できるような社会、また、男女のどちらかに負担や責任が偏ることなく、自らの希望に沿った形で活躍できる社会」と言えます。

男女共同参画ってなんだろう?

こんにちは 人権室です
三好市人権室
☎ 72-7622

"ダイバーシティ社会"を作るのは誰?

ジェンダーギャップ指数
日本 121位 / 156か国中

○私らしく
×男らしく女らしく

「男性は仕事、女性は家庭」、「男だから強くなりなさい」、「男の子はくよくよしない!」、「女だから控えめにしなさい」、「女の子だからおとなしくしなさい」などの価値観に縛られていませんか?
もちろん、「男らしくなりたい!」女らしくなりたい!」と思うことは個人の自由です。しかし、無理に自分を「らしき」の型にはめようと強要したりされたり、となると、とても窮屈な気持ちが出てくるのではないのでしょうか?
日常生活の中で当たり前になつてしまっている男女の関わりを見つめなおし、「男女共同参画」について今一度考えてみましょう。

その後、「体験」「産品」「食」という3つのテーマについてジオ(大地)



三好ジオパーク構想推進協議会には、4つの部会(保全・教育・防災・ツーリズム)があり、それぞれの観点から持続可能な地域社会の実現を目指して活動しています。
ツーリズム部会では1月30日に、「ジオツーリズムとは何か?」を学ぶ研修会を行いました。大地と食の繋がりが学べる動画や、三好市で実施したオンラインジオツアーの動画を視聴したり、「みよしジオガイドの会」に、池田の町並みをジオの視点からガイドしてもらおうジオツアーを体験しました。

や、歴史文化、生き物との繋がりを考えるワークショップを実施しました。一見すると、これら3つのテーマはジオと直接は関係しないように感じるかもしれませんが、例えば三好市の特産品である「祖谷そば」は、祖谷地方独特の急傾斜地畑で水捌けが良く柔らかな土壌という大地の特徴があるからこそ美味しいそばができるなど、大きな繋がりがあります。このようなジオとの繋がりを、ジオパーク的手法を用いて観光客に経験してもらい、学び、楽しんでもらうことがジオツーリズムであることと学びました。この学びを基に、これからツーリズム部会として「体験型ジオツアー」を企画すべく、活動を進めていきます。
今回はツーリズム部会の活動を紹介しましたが、4つの各部会の活動を通じて三好市の魅力を深掘りし、地域住民や地域の各種民間団体の皆さんと連携しながらジオパーク活動を推進し、持続可能な地域社会の構築を目指します。



ジオパークを知ろう!

